

平成 24 年度

音楽学部個別学力検査

(専攻別実技試験等)

課 題 曲

(試験内容及び試験曲)

愛知県立芸術大学

試験内容及び試験曲

専攻実技

◆ 作曲専攻（作曲）

- (1) 4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題、バス・ソプラノ混合課題のいずれか1題が課せられます。）……………所要時間：3時間
- (2) 器楽曲作曲
与えられたモチーフを用い、器楽曲を作曲してください。
なお、長さ、形式、楽器編成は自由（ピアノ使用可）……………所要時間：6時間
- (3) 上記の課題（1）、（2）に関する解説

◆ 作曲専攻（音楽学）

- (1) 音楽学に関する基礎的試験（音楽学の学習に必要な理論的な基礎的能力を問う試験）。……………所要時間：論述2時間及び口述試問所要時間
- (2) 外国語（英、独、仏から1科目）。解釈の能力を問う試験。……………所要時間：1時間

外国語の選択科目は作曲専攻（音楽学）提出用紙に記入し、入学願書の提出書類とともに提出してください。

◆ 声楽専攻（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）

- 課題曲 1 曲と自由曲 1 曲を暗譜で演奏してください。

課題曲：次にあげられた課題選択曲のうち、必ず2つ以上のグループから、合計4曲を選び、
曲目提出用紙に記入し入学願書の提出書類とともに提出してください。うち1曲を当日
指定します。

a. 『イタリア歌曲』グループ

- | | | | |
|-----|-----------------|--------------------------|--------------|
| 1. | V. Bellini | Ma rendi pur contento | (Ges, As) |
| 2. | A. Caldara | Selve amiche | (a, h) |
| 3. | M. A. Cesti | Intorno all'idol mio | (d, e, f) |
| 4. | F. Durante | Vergin, tutto amor | (h, c, d) |
| 5. | G. Giordani | Caro mio ben | (Des, Es, F) |
| 6. | G. Paisiello | Nel cor più non mi sento | (Es, F, G) |
| 7. | G. B. Pergolesi | Se tu m'ami | (es, f, g) |
| 8. | A. Scarlatti | Già il sole dal Gange | (G, As, B) |
| 9. | A. Scarlatti | Le violette | (G, B, H) |
| 10. | A. Scarlatti | Son tutta duolo | (g, a) |

b. 『ドイツ歌曲』グループ

- | | | | |
|-----|-----------------|---|--------------|
| 11. | L. v. Beethoven | Ich liebe dich | (F, G) |
| 12. | W. A. Mozart | Als Luise die Briefe ihres ungetreuen
Liebhabers verbrannt | (c) |
| 13. | F. Schubert | An die Musik | (B, C, D) |
| 14. | F. Schubert | Frühlingsglaube | (F, G, As) |
| 15. | R. Schumann | Die Lotosblume | (Des, Es, F) |

c. 『日本歌曲』グループ

- | | | | |
|-----|-------|-------------|------------------|
| 16. | 小松 耕輔 | 母 | (F, G, As) |
| 17. | 中田 章 | 早春賦 | (Es, F) 第1節及び第2節 |
| 18. | 成田 為三 | 浜辺の歌 | (F, As) 第1節及び第2節 |
| 19. | 信時 潔 | 北秋の（“沙羅”より） | (Des, D) |
| 20. | 山田 耕筰 | かやの木山の | (C, D) |

- 曲目に記入してある各調の楽譜は、本学に用意してあります。
大文字は長調、小文字は短調を示します。
- 『イタリア古典歌曲』については、基本的に全音版（畑中良輔編）を使用します。
- 時間の都合により、演奏をカットすることがあります。

自由曲：課題曲として提出した4曲以外のもの1曲を提出。(前掲の課題選択曲の中から提出する事も可)

所要時間3分以上の曲については曲の途中でカットします。

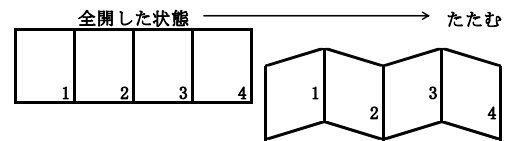
歌曲(一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む)の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラ、オラトリオのアリアについては原調とします。歌詞は原則として原語とします。

- F. Wüllner : Chorübungen I No. 37 a) ~No. 77 d) の中から1曲を試験の際に指定します。
大阪開成館発行『全訳コールキューブングエン』(信時潔訳)を使用します。

提出楽譜についての注意：

- 1) 自由曲伴奏楽譜は、各自必ず提出してください。
- 2) 課題曲においても本学に用意してある調以外の調で歌う場合は、自分の選んだ調の伴奏楽譜を必ず「入学願書」に添えて提出してください。
- 3) 提出楽譜は、1頁をすべてA4の大きさに統一し、**屏風状**に作成してください。
提出楽譜には、伴奏部に添えて必ず歌唱部と歌詞を記入してください。
手書きの場合は、丁寧かつ正確に清書してください。(鉛筆書きの場合は、鮮明にコピーしたものを提出してください。)
- 4) 提出楽譜には、1曲ごとに指定された大きさの表紙を付け、「提出楽譜表紙添付票」に必要事項(氏名、声種も忘れずに)を記入し、それぞれの表紙の左上隅に貼り付けてください。
- 5) 「提出楽譜表紙添付票」が不足する場合は、コピーして使用してください。

以上の規定に反したものは、原則として受け付けません。



◆ 器 楽 専 攻 (ピ ア ノ)

第 1 次 試 験

- a) ① J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集

第 I 巻および第 II 巻より任意の 1 曲 (プレリュードとフーガ) を選択し、演奏してください。

- ② F. Chopin : 練習曲

Op. 10 及び Op. 25 の計 24 曲より 2 曲を選択してください。

いずれか 1 曲を当日会場にて指定します。

- b) 下記のピアノソナタから任意の 1 曲 (全楽章) を準備し、第 1 次試験では最終楽章を演奏してください。

L. v. Beethoven : Op. 2 から Op. 81a (Op. 49-1、Op. 49-2、Op. 54、Op. 78 を除く)

F. Schubert : a-moll D537、Es-dur D568、A-dur D664、a-moll D784

* Beethoven : Op. 27-1 は Allegro vivace から、

Op. 53 は Rondo (Allegretto moderato) から、

Op. 57 は Allegro ma non troppo から演奏してください。

第 2 次 試 験

第 1 次試験の b) で選択した作品の第 1 楽章から演奏してください。

- 第 1 次試験、第 2 次試験ともに

- ・ 全曲暗譜で演奏してください。
- ・ 時間の都合により演奏をカット、または演奏箇所を指定する場合があります。
- ・ 繰り返しなしで演奏してください (ただし 24 小節以内の繰り返しは自由)。

- 曲目提出用紙は入学願書の提出書類とともに提出してください。

- 曲目提出用紙の 演奏曲目 [第 1 次] a) 欄には

① J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集

② F. Chopin : 練習曲

の両方を記入してください。

◆ 器 楽 専 攻 (弦 楽 器)

器楽専攻 (弦楽器) 共通事項

- ・ 繰り返しなし、暗譜で演奏してください。
- ・ 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- ・ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。

器楽専攻 (弦楽器) 提出用紙について (入学願書の提出書類とともに提出してください。ハープを除く。)

- ・ ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの受験者は、提出用紙に、課題曲 b) の練習曲及び自由曲の作曲者名、曲名を欧文で記入してください。
- ・ ヴァイオリン受験者は、第2志望 (ヴィオラ) の有無にも○を付けてください。
- ・ コントラバス受験者は、楽器借用希望の有無に○を付けてください。

ヴァイオリン

(1) 課 題 曲

a) Carl Flesch : Scale System より

d-moll No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) 次の4つの練習曲集、もしくは同等以上の練習曲集より任意の1曲を選択し演奏してください。

J. Dont : 24 Etüden und Capricen Op. 35

P. Rode : 24 Capricen

P. Gaviniès : 24 Etüden

N. Paganini : 24 Capricen Op. 1

(2) 自 由 曲

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

ただし、次の3曲についてはカデンツァの前までとします。

A. Glazunov : Konzert a-moll Op. 82

N. Paganini : Konzert D-dur Nr. 1 Op. 6

H. Vieuxtemps : Konzert a-moll Nr. 5 Op. 37

ヴィオラ

(1) 課 題 曲

a) Carl Flesch : Scale System より

任意の調性 No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) B. Campagnoli : 41 Caprices より任意の1曲

(2) 自 由 曲

チェロ

(1) 課題曲

a) J. Loeb : Gammes et arpèges より

D-dur 4オクターブの音階、4オクターブの分散3度を、4つずつのスラーで。

4オクターブのアルペッジョを、3つずつのスラーで。

2オクターブの3度重音、2オクターブの6度重音を、スラー無しでレガートで。

b) J. L. Duport : The 21 Famous Exercises (Etudes) より第9番

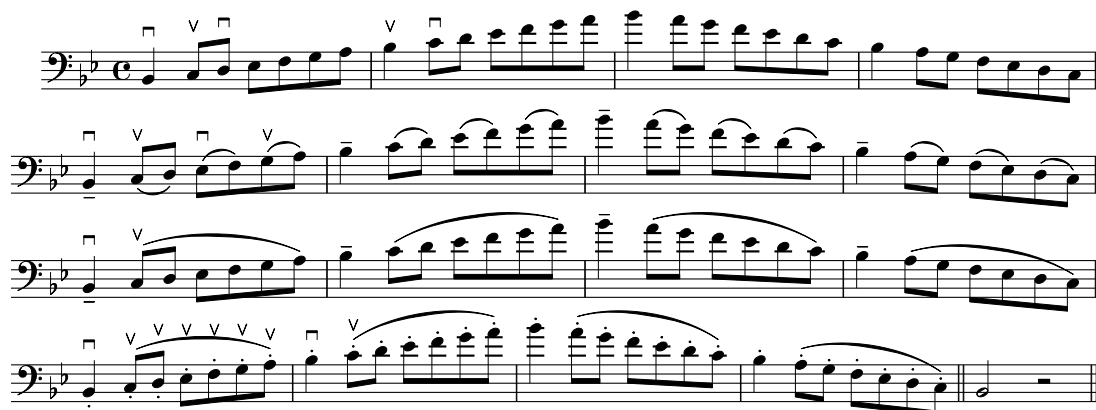
(2) 自由曲

古典派以降の任意のチェロ協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

コントラバス

(1) 課題曲 a)、b) 共にオーケストラ・チューニングで演奏してください。

a) 音階 B-dur 2オクターブ 譜例参照



b) B. Marcello : Sonata in a minor Op.2-3 より第1楽章 Adagio 及び第2楽章 Allegro

(International Music Company 版、Fred Zimmermann 編を使用のこと)

(2) 自由曲はなし

ハープ

ハープ受験者は、本学で用意した楽器で演奏します。楽器の持ち込みは不可です。

(1) 課題曲

a) Ed. Larivirère : Exercices et Études Op. 9 より 1^{ère} Étude No. 36

b) J. L. Dusík (Dussek) : Six Sonatines より Sonatina II F-dur

(2) 自由曲はなし

◆ 器 楽 専 攻 (管 打 楽 器)

器楽専攻（管打楽器）共通事項

伴奏者については、本学で用意します。

第 1 次 試 験

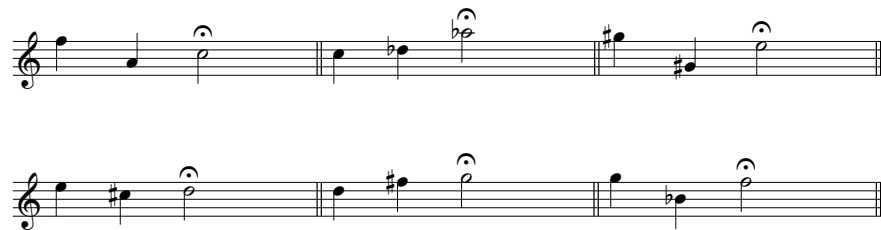
- (1) 課題曲
- (2) 指定された半音階 暗譜で、休止符のない限り一息で演奏してください。
ただし、打楽器は除きます。
- (3) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。楽譜を見ないで演奏してください。
ただし、クラリネット、トランペット、打楽器は除きます。

第 2 次 試 験

- (1) 課題曲
- (2) ディクテーション（ピアノで与えられた単音を各自の楽器で奏します。）

問 題 例

Flute, Oboe, Clarinet, 打楽器（打楽器はマリimbaを使用し、ロール奏法で行う）



- (3) 初見

問 題 例

Clarinet in B^b



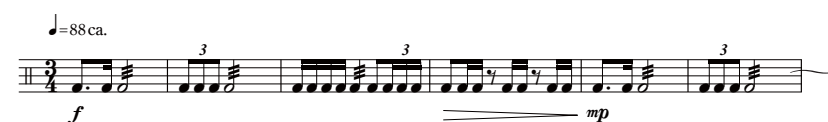
Bassoon



Horn in F Trumpet in B^b



Snare Drum



第1次・第2次課題曲

フルート

第1次

Ernesto Köhler : 35 Exercises for Flute Op. 33 Book2

12 Medium Difficult Exercises より No. 1、2、3、5、6、7、8、11の中から

当日指定します。(版の指定はしません)

第2次

W. A. Mozart : Concerto No. 2 D major K. 314 より第1楽章

カデンツァは、J. Donjon のものを使用してください。(版の指定はしません)

半音階

♩ = ca. 72~80

mp

オーボエ

第1次

W. Ferling : 48 Etudes より

No. 13、14、15、16、17、18、19、20の中から当日指定します。

(版の指定はしません)

L. Wiedemann : 45 Studies for Oboe (45 Etüden für Oboe) より

12、13、16、28の中から当日指定します。(版の指定はしません)

第2次

a) F. J. Haydn : Concerto より 第1楽章 (Breitkopf 版)

b) L. A. Lebrum : Konzert Nr. 1 d-moll für Oboe und Orchester (Schott 版) より

第1楽章 (カデンツァ) なし

a)、 b) から1曲を選択して演奏してください。

○ 選択曲目は曲目提出用紙に記入し、入学願書の提出書類とともに提出してください。

半音階

♩ = ca. 72~80

mp

クラリネット

第1次

C. Rose : 32 Etudes より (版の指定はしません)

No. 23 から No. 32 までの中から当日指定します。

Rolf Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学教育出版部) 全部の音階中、No. 1 の中から当日指定します。ただし、楽譜を見ないで演奏してください。

速度 ♩=ca. 80

レガート及びスタッカートで演奏してください。

第2次

F. Krommer : Konzert für Klarinette und Orchester Es-dur Op. 36 より第1、第2楽章

(版の指定はしません)

半音階 (in B^b)

♩=ca. 72~80

The musical score is written for a clarinet in B-flat major. It consists of three staves of music. The first staff begins with a treble clef, a 3/4 time signature, and a key signature of one flat (B-flat). The tempo is marked as ca. 72-80. The first staff contains a half-tone scale starting on B-flat, moving up to G. The second staff continues the scale from G up to F. The third staff continues from F up to E, ending with a fermata over the final note. The dynamic marking *mp* is placed below the first staff.

バスーン（ファゴット）

第1次

Julius Weissenborn : 50 Bassoon Studies Op. 8 Vol. II No. 1 から No. 14 の中より
当日指定します。(版の指定はしません)

第2次

Antonio Vivaldi : Concerto in d minor Op. 45- 7 (F. VIII-5) より第2楽章 (♩=ca. 66) と
第3楽章 (♩=ca. 108) (版の指定はしません)

半音階

♩ = ca. 72~80

mp

サクソフォーン

第1次

Ferling : 48 Études より No. 1、4、5、6、9、11、12、17、18、22、27、28、32、33
の中から当日指定します。(版の指定はしません)

第2次

A. Glazounov : Concerto en Mi \flat Op. 109 より 冒頭から練習番号 16 まで

半音階 (in E \flat)

$\text{♩} = \text{ca. } 72 \sim 80$

The image shows a musical score for saxophone, consisting of three staves of music. The key signature is one flat (E-flat major), and the time signature is 3/4. The tempo marking is $\text{♩} = \text{ca. } 72 \sim 80$. The first staff contains measures 72-74, the second staff contains measures 75-78, and the third staff contains measures 79-80. The music is a half-step exercise, featuring a sequence of notes that move by half-steps. The first staff starts with a quarter note G4, followed by eighth notes G4-A4, A4-B4, B4-C5, C5-B4, B4-A4, A4-G4, and a quarter note G4. The second staff continues with eighth notes G4-F#4, F#4-F4, F4-E4, E4-D4, D4-C4, C4-B3, B3-A3, A3-G3, and a quarter note G3. The third staff continues with eighth notes G3-F#3, F#3-F3, F3-E3, E3-D3, D3-C3, C3-B2, B2-A2, A2-G2, and a quarter note G2. The piece ends with a double bar line.

ホルン

第1次

C. Kopprasch : 60 Selected Studies for French Horn, Book I

No. 15 は必修。No. 14、17、18、28 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。Low F、B♭ のフルダブルホルンを使用してください。

第2次

W. A. Mozart : Horn Concerto No. 3 K. 447 (Breitkopf 版)

第1楽章 (カデンツァなし)

半音階 (in F)

♩ = ca. 72~80

※

※ 実音

※

(注) ディスカントホルン (ハイ F 管等) を使用しないでください。

トランペット

第1次

1. Arban : 14 Characteristic Etudes より No. 1、2、3、4 より当日指定します。(ISE Collection)
2. Corelli-Fitzgerad : Sonata VIII より第1楽章 (Belwin Mills 版)
3. Arban : Complete Grand Method 65~81 ページより当日指定します。
(ISM Collection 全音楽譜出版社)

第2次

- C. Saint-Saëns : Fantasie en mi bémol (Leduc 版)

半音階 (in B^b)

♩ = ca. 72~80

mp

トロンボーン

第1次

a) C. Kopprasch : 60 Selected Studies for Trombone (C. Fischer 版) Book I
No. 13、14、16、20、23、24、27、31

b) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版) No.14、35、41

a)、b) より各1曲を当日指定します。

第2次

C. Saint-Saëns : Cavatina Op. 144 (版の指定はしません)

半音階

♩ = ca. 72~80

mp

バストロンボーン

第1次

a) C. Kopprasch : 60 Selected Studies for Trombone (C. Fischer 版) No. 8、12、14、26

b) A. Ostrander : Melodious Etudes for Bass Trombone (C. Fischer 版) No. 3、18、22

a)、b) より各1曲を当日指定します。

第2次

E. Bozza : Allegro et Finale (A. Leduc 版)

半音階

♩ = ca. 72~80

The image shows a musical score for Bass Trombone, consisting of four staves. The first staff is in 3/4 time, marked *mp*, and begins with a tempo indication of ca. 72-80. It features a series of eighth notes with a slur, followed by a quarter rest. The second staff continues the eighth-note pattern with a slur. The third staff continues the eighth-note pattern with a slur. The fourth staff concludes with a half note and a final double bar line.

ユーフォニアム

第1次

a) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版) Book I より

No. 6、8、10、12、15、19

b) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より

No. 14、18、22、24、27、31

a)、b) より各1曲を当日指定します。

第2次

A. Capuzzi : Andante and Rondo (from Concerto for D.Bass)

(Hinrichsen 版 1474)

Rondo は **D** の前まで演奏してください。

半音階

$\text{♩} = \text{ca. } 72 \sim 80$

mp

チューバ

第1次

a) M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies No. 7、12、21、28
(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 2009)

b) C. Kopprasch : 60 Selected Studies for BBflat Tuba No. 15、18、34、41
(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 278)

a)、b) より各1曲を当日指定します。

第2次

J. S. Bach / William J. Bell 編曲 : Air and Bourre (C. Fischer 版 No. W1647)

半音階

♩ = ca. 72~80

The musical score is written in bass clef with a 3/4 time signature. It begins with a tempo marking of ca. 72-80. The first staff starts with a mezzo-piano (*mp*) dynamic and features a half-step exercise. The second staff continues the exercise with a slur. The third staff shows a continuation of the exercise with a slur and a fermata. The fourth staff concludes the exercise with a final note and a fermata.

打楽器

- a) スネアドラムで受験する者：スネアドラムは各自持参したもので演奏してください。
- b) マリンバで受験する者：スネアドラムは本学でも用意しますが、各自持参したもので演奏しても構いません。
- a)、b) 共通：マリンバは本学の楽器を使用してください。

第1次

- a) スネアドラムで受験する者
 - ① 楽譜④をひびき線ありで演奏してください。手順が書かれている場所はそれに従ってください。
 - ② W. F. Ludwig : Collection Drum Solos (Ludwig Drum 版) より次の A 及び B を演奏してください。手順は
“The Standard 26 American Drum Rudiments”
(Collection Drum Solos 2 ページ及び 48 ページ参照) に従ってください。
A : Three Camps “Play as a continuous roll and observe accents” (16 ページ)
繰り返しありで演奏してください。
B : Dixie (9 ページ)、Dinner Call (17 ページ)、Rambling Ratemacues (18 ページ)
の中から当日指定します。すべて繰り返しありで演奏してください。
- b) マリンバで受験する者
 - ① 音階 すべての長調、短調の中から当日指定します。
3 オクターブ、往復、短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階
(楽譜⑤)
 - ② Jaque Delécluse :
VINGT Études D'APRÈS R. KREUTZER adaptée au Xylophone
(ALPHONSE LEDUC 版) より以下をマリンバで奏する。
9番 (スティッキングは自由)
17番 (テンポ 4分音符 \approx 126~132で奏すること)
 - ③ Clair Omar Musser : Etude Op. 11 No. 4, Etude in C Op. 6 No. 10
(Studio 4 Productions 版) より当日指定します。

第2次

- a) スネアドラムで受験する者
 - ① Portraits In Rhythm (Alfred 版)
13番 繰り返しありで演奏してください。
 - ② マリンバで音階を演奏してください。
すべての長調、短調の中から当日指定します。
2オクターブ、往復、短調は和声短音階 (楽譜⑥)

b) マリンバで受験する者

① 下記 A、B より 1 曲を選択して演奏してください。

A) 田中 利光：マリンバのための二章より（全音楽譜出版社）

I、II（II は 14 小節目まで）

B) Gordon Stout：Two Mexican Dances for Marimba

（Studio 4 Productions 版）1、2

演奏楽章は当日指定します。

② 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち（スネアドラムを使用、ひびき線なし）

より当日指定します。

Ⓐ

Snare off

♩=80

L R L R L R L R L R L R

f

L R L R L R L R L R L R L R L R

L R L R L R L R L R L R L R L R

fff *p* *fff*

Ⓑ

♩=120

Ⓒ

♩=120

副科試験

ピアノ（器楽専攻ピアノコースを除く。）

C. Czerny（チェルニー）30 番練習曲集、40 番練習曲集、50 番練習曲集より任意の 1 曲を選択し、繰り返しなし、暗譜で演奏してください。

時間の都合により、演奏をカットする場合があります。

新曲視唱

歌詞をとまなわない初見視唱 1 題

聴音

◆ 作曲専攻（作曲コース）

- (1) 単旋律課題 1 題
- (2) 2 声の旋律課題 1 題（上声は高音部記号により大譜表の上段に、下声は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）
- (3) 4 声の和声課題 1 題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

◆ 作曲専攻（音楽学コース）、声楽専攻、器楽専攻

- (1) 単旋律課題 1 題
- (2) 4 声の和声課題 1 題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

楽典（作曲専攻作曲コース・音楽学コースを除く。）

音楽大学での学習に必要な基礎知識一般（音程、和音判別及び所属調、調性判別、移調、楽語等）

……………所要時間：1 時間

なお、平成 25 年度入試からは音楽学コースの志願者にも楽典を課します。

平成23年度愛知県立芸術大学音楽学部入学試験

作曲専攻（作曲）

I 和声課題

次の和声課題を4声体で実施しなさい。

Allegretto

p

mp

mf *mp*

mf *mp*

f

poco a poco diminuendo ----- *p*

rit. ----- *pp*

II 器楽曲作曲

次の2つのモチーフのうち、どちらかを用い、器楽曲を作曲せよ。
テンポ、強弱、形式および楽器編成は自由。



☆注 長さは自由

作曲専攻（音楽学）

音楽に関する基礎的試験

下記のテーマについて、具体的な例を挙げながら、論じてください。

テーマ：楽譜に「書けること」と「書けないこと」

※問題用紙は解答用紙とともに、試験終了後に回収します。
 ※受験番号は解答用紙に記入してください。

【問題用紙】

譜例 (チャイコフスキー『四季』Op.37 より第 6 曲「舟歌」の冒頭) をみて、以下の各問いに答えよ。

1. この楽譜には調号が欠けている。各段頭にある 内に入る適切な調号を譜表上に書き入れよ。

以下の問題はすべて、正しい調号が記入されていることを前提とする。

2. (1)～(9) に示されている音程を答えよ。(例：短 3 度、等。)
3. (1)～(9) の音程のうち、転回音程の關係に当たるものをすべて答えよ ((□) と (△) というように、番号で答えること。なお音程はすべて単音程に直して考えよ)。
4. (1)～(9) の音程のうち、異名同音程(例えば増 1 度と短 2 度のような音程)の關係に当たるものをすべて答えよ ((□) と (△) というように、番号で答えること。なお音程はすべて単音程に直して考えよ)。
5. A～E に示されている各和音の種類(例：長三和音、等)とその転回形(基本形、第 1 転回形、等)を答えよ。
6. F に示されている和音が所属し得る調を、一つないし複数の音を異名同音変換した場合も含めてすべて、日本語で答えよ。なお和声短音階で考えるものとする。
7. 次に指示される音階を全音符で書け。
 イ. ①を下属音とした短調の旋律短音階上・下行形を調号を用いてアルト譜表に。
 ロ. ②を終止音としたリディア旋法を臨時記号を用いてバス譜表に。
8. 譜例について説明した以下の文章の、下線部分に正しいと思われる言葉を下枠より選び、番号で答えよ。ただし、同じ言葉を重複して使用してもよい。また、複数の解答が考えられる場合は、何れか一つを解答すればよい。

一般に「舟歌」(または「バルカロール」)というタイトルの音楽は ア 拍子で書かれるが、この作品は 4 分の 4 拍子で書かれている珍しい例である。曲はまず主調である イ 調の主和音による伴奏音型が左手で奏されたのち、右手で 3 小節目の ウ からテーマが示される。エ 小節目の オ 拍目で平行調に転調して雰囲気が変わるが、反復進行ですぐに主調に戻り、主題の提示部分が終わる。

1. 単純 2. 複合 3. 混合 4. ハ長 5. ト長 6. ト短 7. ヘ短 8. 嬰ト短 9. 変口長 10. 変ホ長
 11. ヘミオラ 12. シンコペーション 13. アウフタクト 14. 1 15. 2 16. 3 17. 4 18. 5 19. 6
 20. 7 21. 8 22. 9 23. 10

9. 楽譜内の下記楽語ならびに記号は省略形である。すべて省略しない形に直しなさい。また、意味を選択肢から選んで番号で答えよ。

(意味)

- (1) *espress.*
- (2) *dim.*
- (3) *poco più f*

- | | | | | |
|-----------|-----------|-------------|--------------|-----------|
| 1. 単純に | 2. 堂々と | 3. だんだん強く | 4. だんだん弱く | 5. だんだん遅く |
| 6. 決然と | 7. 快速に | 8. 少しだけより強く | 9. 少し強さを押さえて | |
| 10. 少し弱めに | 11. 強すぎずに | 12. 表情豊かに | 13. 響きをもって | |
| 14. 3回 | 15. 減音程で | 16. 歌うように | | |

10. 冒頭の2小節を、調号を用いて短3度下に移調せよ。音符だけでなくアーティキュレーションや各種の記号もすべて書くこと。

(問題ここまで)

(譜例)

Andante cantabile

The musical score is for a piece in C major, 4/4 time, marked 'Andante cantabile'. It consists of four systems of music. The first system starts with a piano (*p*) dynamic. The second system includes annotations (1) through (5) and a circled 'V' above the staff. The third system includes annotations (6) through (9) and a circled 'A' below the staff. The fourth system includes annotations (7) through (9) and circled 'E' and 'Z' below the staff. Dynamics include *p*, *espress.*, *mf*, *dim.*, and *poco più f*. The key signature is one sharp (F#).

ソルフェージュ

I 聴音 4声体和声

作曲専攻（作曲）・器楽専攻（ピアノ）

（主音のみを与える。テンポの指示は無し、20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。
演奏終了後、1分間を与える。）

4声

A musical score for a 4-voice harmony exercise. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature has three flats (B-flat, E-flat, A-flat) and the time signature is common time (C). The score contains 8 measures of music. The first staff has a melody of quarter notes: G4, A4, Bb4, A4, G4, F4, E4, D4. The second staff has a bass line of quarter notes: D3, E3, F3, G3, A3, Bb3, A3, G3. The final measure ends with a double bar line.

作曲専攻（音楽学）・声楽専攻・器楽専攻（弦楽器・管打楽器）

（主音のみを与える。テンポの指示は無し、20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。
演奏終了後、1分間を与える。）

4声

A musical score for a 4-voice harmony exercise. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature has two flats (B-flat, E-flat) and the time signature is common time (C). The score contains 8 measures of music. The first staff has a melody of quarter notes: G4, A4, Bb4, A4, G4, F4, E4, D4. The second staff has a bass line of quarter notes: D3, E3, F3, G3, A3, Bb3, A3, G3. The final measure ends with a double bar line.

Ⅱ 聴音（旋律）

作曲専攻（作曲）・器楽専攻（ピアノ）

（主音及び、主和音を与える。テンポの指示は無し、20秒間隔で、通奏1回の後、4小節毎に4回の演奏を行なう。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後、1分間を与える。）

旋律

Musical score for piano, 3 staves, treble clef, key signature of two sharps (F# and C#), common time. The melody consists of 12 measures. The first staff has 4 measures, the second staff has 4 measures, and the third staff has 4 measures. There are several triplet markings (3) throughout the piece.

作曲専攻（音楽学）・声楽専攻・器楽専攻（弦楽器・管打楽器）

（主音及び、主和音を与える。テンポの指示は無し、20秒間隔で、通奏1回の後、4小節毎に4回の演奏を行なう。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後、1分間を与える。）

旋律

Musical score for string or woodwind instruments, 3 staves, treble clef, key signature of two sharps (F# and C#), common time. The melody consists of 12 measures. The first staff has 4 measures, the second staff has 4 measures, and the third staff has 4 measures. There are several triplet markings (3) throughout the piece.

Ⅲ 聴音（2声）

作曲専攻（作曲）受験生のみ課す。

（主音及び主和音を与える。テンポの指示は無し、20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。
演奏終了後、1分間を与える。）

2声

The image shows a musical score for a two-part listening exercise. It consists of two systems of music, each with a treble and bass staff. The key signature has two flats (B-flat major), and the time signature is 6/8. The first system contains four measures, and the second system contains four measures. The music is written in a style typical of a listening exercise, with clear melodic lines and harmonic support.

IV 新曲視唱

作曲専攻（作曲）・器楽専攻（ピアノ）

（予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。）

A

Moderato

mf

p *cresc.* *f*

riten. *a tempo*

mf *mp*

rit.

B

Moderato

mf

p *cresc.* *f*

riten. *a tempo*

mf *mp*

rit.

作曲専攻（音楽学）・声楽専攻・器楽専攻（弦楽器・管打楽器）

（予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。）

A

Moderato

mp

mf

f

mp

Detailed description: This section consists of four staves of music. The first staff begins with a treble clef, a key signature of two sharps (F# and C#), and a 6/8 time signature. The tempo is marked 'Moderato'. The first measure starts with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The second staff features a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The third staff reaches a forte (*f*) dynamic. The fourth staff returns to mezzo-piano (*mp*). The music is characterized by flowing eighth-note patterns and long, sweeping melodic lines.

B

Moderato

mp

mf

f

mp

Detailed description: This section consists of four staves of music, mirroring the structure of section A. It begins with a treble clef, a key signature of two sharps (F# and C#), and a 6/8 time signature. The tempo is marked 'Moderato'. The first measure starts with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The second staff features a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The third staff reaches a forte (*f*) dynamic. The fourth staff returns to mezzo-piano (*mp*). The music is characterized by flowing eighth-note patterns and long, sweeping melodic lines.

愛知県立芸術大学
学務課

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字^{なご}三ヶ峯^{きがみね}1の114

(郵便番号 480-1194)

電話 (0561) 76-2603 (入試・広報係直通)